

会 議 議 事 録

| | | |
|------------------|--|--|
| 会 議 名 | 第一回 職業実践専門課程 教育課程編成委員会 | |
| 開 催 日 時 | 平成 27 年 7 月 15 日(水) | 15:00 ~ 16:30 |
| 会 場 | 専門学校広島工学院大学校 (4 階 407 教室) | |
| 編 成 委 員 参 加 者 | 企 業 10 名 | 広島県自動車整備振興会 トヨタカローラ広島株式会社 広島トヨペット株式会社 広島トヨタ自動車株式会社 広島スバル株式会社 ダイハツ広島販売株式会社 広島三菱自動車販売株式会社 株式会社サコダ車輛 広島日野自動車株式会社 二村自動車株式会社 |
| | 学 校 6 名 | 専門学校広島工学院大学校 校 長 半明 英幸 副校長 錠本 光照 自動車整備科 学科長 赤木 大作 オート研究科 学科長 久保 修二 自動車整備科 教員 川上 邦生 自動車整備科 教員 岩滝 英治 |
| 会 議 録 | 1. 開会 2. 挨拶(学校長より) 3. 出席者紹介 4. 議題 (1) 企業連携・派遣授業の実施内容及び年間スケジュールについて ・[平成 26 年度 職業実践専門課程 実績報告](資料 3)を赤木学科長より報告。 ・[平成 27 年度 職業実践専門課程 実績報告及び予定](資料 4)を赤木学科長より報告。 ・学生の[企業研修学生アンケート結果報告書](資料 6)の集計内容を岩滝より報告。 ・[学内教育及び特別研修について](資料 5)を赤木学科長より説明。ソーシャル検定資料を回覧。 | |

- | | |
|--|---|
| | <p>(2) インターンシップ事前学習アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none">・学生の〔インターンシップ事前学習アンケート報告書〕(資料 7)の集計内容を川上より報告。・〔インターンシップ報告会開催のご案内〕(資料 8)を赤木学科長より説明。 <p>(3) 専門学校で行う入社前の新入社員研修の内容について</p> <ul style="list-style-type: none">・参加企業様より「新入社員研修内容」及び、「学校内で行って欲しい教育内容」について意見を頂く。 <p> 「新入社員研修内容」について</p> <ul style="list-style-type: none">… 接遇、マナー等、一般研修… 安全作業、定期点検等、技術研修… 山籠もりを通して、集団行動、安全行動(作業)、生産性を学ぶ <p> 「学校内で行って欲しい教育内容」について</p> <ul style="list-style-type: none">… 社会人としての常識、マナー教育(挨拶・報連相等)… コミュニケーション能力を高める教育(グループ・ディスカッションやロール・プレイング)… 車に興味を持ってもらえるような教育 ・「体験実習評価報告書(見本)」、「年間行事予定表」(その他資料)を赤木学科長より紹介。 <p>5. 意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特になし <p>6. 閉会</p> |
|--|---|

会 議 議 事 録

| | | |
|------------------|--|--|
| 会 議 名 | 第二回 職業実践専門課程 教育課程編成委員会 | |
| 開 催 日 時 | 平成 28 年 1 月 20 日(水) | 15:00 ~ 16:40 |
| 会 場 | 専門学校広島工学院大学校 (3 階 307 教室) | |
| 編 成 委 員 参 加 者 | 企 業 11 名 | 広島県自動車整備振興会 トヨタカローラ広島株式会社 広島トヨペット株式会社 広島トヨタ自動車株式会社 広島スバル株式会社 ダイハツ広島販売株式会社 広島三菱自動車販売株式会社 株式会社サコダ車輛 広島日野自動車株式会社 株式会社ウイング広島 二村自動車株式会社 |
| | 学 校 5 名 | 専門学校広島工学院大学校 校長 半明 英幸 副校長 錠本 光照 自動車整備科 学科長 赤木 大作 自動車整備科 教員 川上 邦生 自動車整備科 教員 岩滝 英治 |
| 会 議 録 | 1. 開会 2. 挨拶(学校長より) 3. 出席者紹介 4. 議題 (1) 平成 27 年度 職業実践専門課程 実績報告 ・[平成 27 年度 職業実践専門課程 実績報告](資料 2)を赤木学科長より報告。 (2) インターンシップ事後学習 アンケートについて ・[インターンシップ事後アンケート結果 報告書](学生対象 資料 3)、[インターンシップ評価結果 報告書](受入れ企業様及び学生対象 資料 4)の集計内容を川上より報告。 (3) インターンシップ報告会 アンケートについて ・[インターンシップ報告会 アンケート結果 報告書](報告会に出席いただいた企業様対象 資料 5)の集計内容を赤木学科長より報告。 | |

- (4) 第1回教育課程編成委員会 議題に対する学校の取組みについて
- ・〔第1回教育課程編成委員会 議題に対する学校の取組みについて〕(資料6)の内容を岩滝より報告。
- (5) 就職セミナー アンケートについて
- ・〔就職セミナー アンケート報告書〕(就職セミナーに参加いただいた企業様及び学生対象 資料7)の集計内容を赤木学科長及び岩滝より報告。
6. 意見交換会
- ・インターンシップについて、協力企業数や実施期間等についての質問。
 - ・前回委員会の議題に対する学校の取組み課題の一つ「挨拶」について、本日来校時の学生を見て、成果が出ていると実感した。
 - ・授業風景(学科・実習)の見学は可能か⇒授業又は実技試験の見学公開を、次年度検討している。
 - ・コミュニケーション能力の向上について。話す力(発信)だけではなく、相手の話を聞き取り理解する力(受信)も非常に重要。授業において、そのような力を養う取り組みが必要ではないか(例えば、常にメモを取る習慣をつけさせる等)。
 - ・今年度の振り返りを聞き、方向性は正しいと感じている。後は技術力・コミュニケーション能力を向上させるには、繰り返しが大切。
 - ・就職セミナーの運営について意見。学生の行先ブースは事前に希望を取り全回数調整したとのことだが、最低限、最後の一回はフリーで回らせてはどうか。その方がお互いに踏み込んだ話が出来ると思うが、検討の余地があるか⇒実施後のアンケート結果(資料7)を踏まえ、次年度に向けて改善を検討中。
 - ・コミュニケーション能力向上の一環として1分間スピーチを実施しているとの事だが、ただ一方的に話すことで終るのではなく、次の段階としてお客様対応を想定し、相手が話した内容を理解しているのかの確認まで出来るようにしてはどうか。
 - ・前回委員会の議題に対して、しっかりとフィードバックがされていると感じた。例えば「対応の言葉」の唱和について。当社でも同じような事を毎日取り組んでいる。当初は各個人の接客力のレベルアップが目的であったが、現在では会社全体のレベルアップへと深堀している。入社時、挨拶だけでも一番を目指せるような指導を継続してもらいたい。
 - ・学生を指導する際、こうなさい、これはしてはいけないだけの一方的な指導ではなく、何故それが必要なのかから考えさせる取り組みが必要ではないか。最近の新入社員を見て、痛切に感じている。
 - ・インターンシップは当然学生もだが、受入れ企業にとっても良い勉強・刺激になる。今後も継続して実施していただきたい
 - ・学生に考える力が身につく教育を実践していただきたい。
7. 閉会